

つくば市における自動販売機の分布に関する考察（2）

- A study of distribution on vending machine in Tsukuba city (2) -

長坂 幸俊 (NAGASAKA Yukitoshi) ・ 中村 文宣 (NAKAMURA Fuminori)

②自動販売機と周辺施設との位置関係

まず、各地域における CVS を中心に 50m から 250m まで 50m 間隔の多重リングバッファをかけ、飲料を扱った自販機との相関関係を考察した(図2)。また、バッファ内の自販機数は以下の表に示した。

全体的な傾向として、CVS から距離が離れるにつれて、飲料自販機が多く設置されることが読み取れる。特に、飲食店集中地区においては CVS のない地域（飲食店街）に密集して設置されている点特徴的である。一方、集合住宅集中地区においては、CVS の数が多いために、自販機の設置箇所とバッファが重なる事例が多くみられた。

次に、自販機の設置場所の分析から、周辺施設との関係性を考察する。以下に設置場所別自販機台数を示す。最も多くの自販機が設置されている場所は物販店であり、飲料自販機が多くを占めるものの、

タバコ、証明写真、アイスクリームなどと、多様な自販機が設置されている。次いで、駐車場、会社事務所、集合住宅、飲食店の順になっているが、これらはほとんどが飲料自販機である。特に、駐車場における飲料自販機の設置率が高い。また、飲食店に関しては、飲料に加えてタバコ自販機の設置割合が他に比べて多い傾向にある。

よって、周辺施設との関係性という点においては、飲食店集中地区のように、CVS と自販機の「すみわけ」がなされているといえる地区もみられる。また、駐車場や飲食店には副次的利益の獲得を狙った自販機の設置する傾向がみられることから、これらの事象と強いつながりを持っているということが伺えた。

表 多重リングバッファ内の自動販売機台数

	～50m	50～100m	101～150m	151～200m	201～250m
集合住宅集中地区	2	4	8	5	11
飲食店集中地区	6	1	4	1	3
都市中心地区	1	2	5	10	10
都市郊外地区	1	2	2	3	3

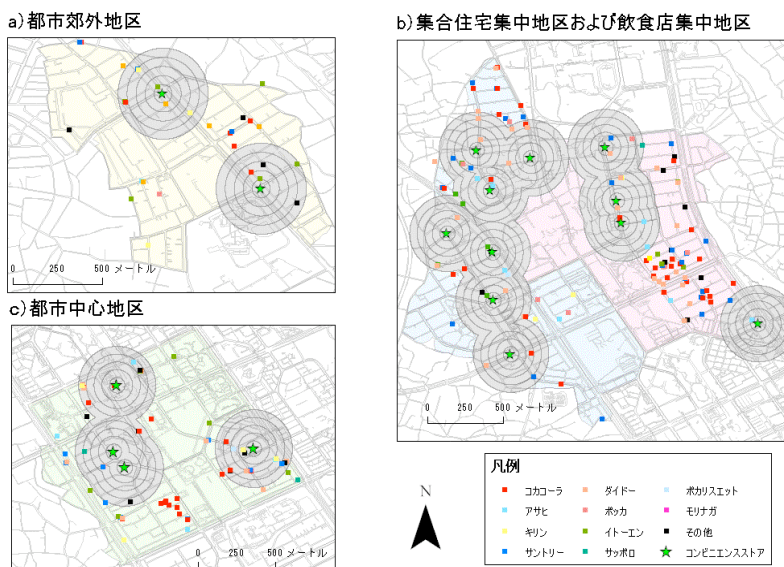
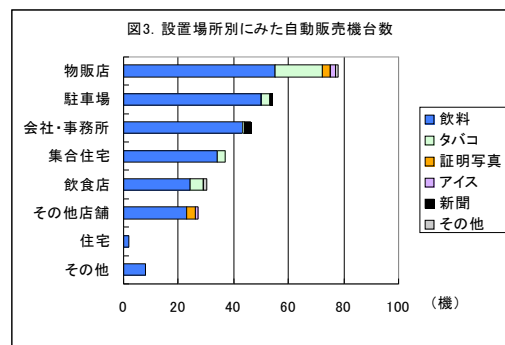


図2. 自動販売機のメーカー別分布とコンビニエンスストアとの位置関係